

月刊 やちまなこ

2019.11.15 発行

No.264

11 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

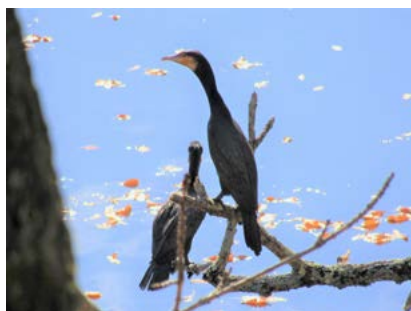
紅葉シーズンも既に終わり、遠くに見える山の頂は白く彩られ、地面に積った落葉には霜の衣がキラキラと朝陽に輝いていた。その光の先にはオオハクチョウの姿が見え、ゆっくりと湖面を滑るように移動していた。朝の気温も氷点下となり、水鳥たちで賑わう湖に氷が張る頃は、本格的な冬の訪れを迎えるが、釧路湿原も近年では温暖化の影響で、気温差も極端となり、結氷も遅れがちであることを渡り鳥はどのように感じているのか、気になるところでもある。



塘路フィールドノート【10/15～11/14】

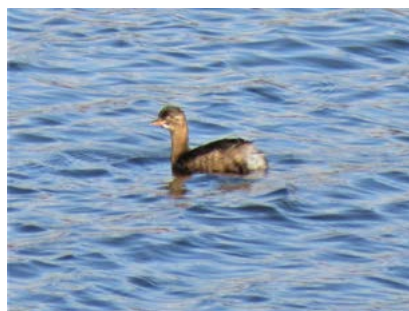
【野鳥】

晩秋を迎えた塘路湖やシラルトロ湖は水鳥たちで賑わっています。また、湖畔の樹々は葉を落とし、小鳥たちの姿をとらえやすくなりました。晩秋はバードウォッチングに最適な季節。湖畔を歩くと、様々な野鳥に出会えます。



カワウ（シラルトロ湖畔）

湖畔の枝で羽を休めていました。お気に入りの場所らしく、この枝上で度々見かけます



カイツブリ（塘路湖）

数羽の集団で採餌をしていました。この個体は顔に白斑が見えるので、おそらく幼鳥



カンムリカイツブリ（塘路湖）

今年はセンターの周辺でよく見かけます。時には5～6羽ほどの集団でいることも…



カワアイサ（塘路湖）

センター前を大群が通過していく光景は晩秋の風物詩。特に夕方によく見られます



キンクロハジロとスズガモ（シラルトロ湖）

手前二羽がキンクロハジロで奥がスズガモ。スズガモは周辺では比較的珍しいカモです



ヒドリガモ（塘路湖）

奥が♀で左は換羽中の♂。右の個体（おそらく♂）は水面に頭を突っ込んで採餌中



ツグミ (塘路湖畔)

最近、見かける機会が多くなってきました。冬鳥ですが、多くはもうじき南へ渡ります



ヒヨドリ (塘路湖畔)

湖畔を歩いていると、賑やかな鳴き声をよく耳にします。群れで行動することが多いです



ヤマゲラ (塘路湖畔)

頭頂に赤い斑がない♀。ドラミング音が聞こえた方を見ると、意外に近くにいました



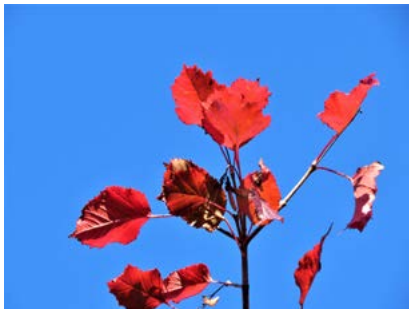
◎マガンを探せ

秋が深まり、渡り鳥たちの最盛期を迎えているシラルトロ湖。賑わいを見せるこの時期のシラルトロ湖で最も目立つ野鳥と言えばやはりヒシクイ（ほとんどが亜種オオヒシクイ）ですが、よく見ると、ヒシクイの群れの中に類似種のマガンが少数混じっていることがあります。

ヒシクイの群れの中のマガン探しはこの時期の楽しみの一つで、ヒシクイの群れを見ると、つついマガンを探してしまいます。外見が酷似するこの二種、見分けるポイントは嘴で、全体が桃橙色で基部が白いのがマガン。全体が黒で先が橙黄色なのがヒシクイです。左上の写真では、左から二番目の二羽がマガン、残りは右下のカモ一羽（おそらくカワアイサ）を除いてすべてヒシクイです。

【植物】

今年の秋は樹々の紅葉・黄葉が共にゆっくりだったため、例年より遅くまで色鮮やかな光景を楽しめました。しかし、11月も中旬を迎えた現在、それらの樹々もすっかり葉を落とし、湖畔には冬枯れの光景が広がっています。



カラコギカエデ (塘路湖畔)

燃えるような赤色の葉。湖畔では稀な樹木ですが、この時期の存在感は際立っています



ミズナラ (シラルトロ湖畔)

ちょうど色彩のピークを迎えた葉。太陽の光を透かしてキラキラと輝いていました



ツルウメモドキ (元村キャンプ場)

果実の皮がはがれて真っ赤な種子が姿を現していました。晩秋を感じる色彩の一つです



イタヤカエデ (塘路湖畔)

毎年真っ赤に色づくセンター前の木。今年は昨年よりさらにいい感じで色付きました



カラムツ (塘路湖畔)

紅葉・黄葉のトリを飾る樹木。他の樹木と入れ替わるように、黄葉の見頃を迎えました



フッキソウ (フィトンチッドの森)

真珠のような果実。フッキソウは結実率が低く、果実が見られるのはかなり稀です

◎秋を映す鏡の湖面

冬の気配を色濃く感じるようになった晩秋の塘路湖畔。空気は日に日に冷たく感じるようになってきましたが、一方で、すっきりとした秋晴れの日が増え、湖畔は澄んだ空気に包まれています。

右は10月下旬のある朝の塘路湖。色鮮やかな対岸の山並み、澄み渡った青い空と真っ白な雲、そしてそれらを映し出す鏡のように穏やかな湖面。塘路湖の秋を凝縮した息をのむような光景が広がっていました。



10月26日(土)に開催予定だった

「晩秋の湿原 野鳥観察会」は悪天候のため中止となりました。

12月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

バードカービング講座 第四回目

[日 時] 12月8日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 第一回の参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

地形を見て歩く！湿原探索

[日 時] 12月1日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 10/15(5:34,16:41). 10/31(5:54,16:17). 11/14(6:11,16:01)

～編集後記～

■朝の気温が氷点下8℃を記録するようになり、暖房が欠かせない季節となりました。車のタイヤやワイパーも冬用に替え、いつ雪が降っても準備万全と言いたいのですが、凍結し始めの道路はブレーキやスピード加減に慣れてないせいか、緊張します。広い北海道、地域により積雪量やアイスバーンなど路面の変化が大きいですので、冬道運転には注意して下さい。4WD車も同様で、あまり過信しないように。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料